

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年 12月 1日

事業所名 放課後等デイサービス メロディ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		宿題など構造化し1人で出来る環境を作っている	放課後等デイサービス運営事業概要に乗っ取り利用定員スペース・設備等の広さは確保できている
	2	職員の配置数は適切である	7			定員10名を守りながら支援を行い個別対応も出来るように支援員の配置がされている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7			車椅子利用者等にも対応できるように玄関はスロープ設置・室内は段差はなく・トイレは障害者用とバリアフリー化されている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			職員からの課題や支援方法等相談意見が言いやすい環境作りを行い、子どもの楽しめる環境を心がけています
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			保護者向けアンケートからのご指摘をスタッフと会議しています。アンケート以外でも意向や希望が言いやすい環境を作っていきます
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			ホームページや通信などに公開していきます
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	7		現在第三者による外部評価は受けていません
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		社会福祉法人光陽会が年間研修を計画している	支援員が放課後等デイサービスで必要とされる研修を管理者に相談することで研修確保が出来ている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		学校・医療機関・相談支援事業所との情報共有	家庭や学校での様子など情報を共有し課題分析を行っています。支援員からの意見も取り入れながら主観的にならない計画作成を行っています
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		メロディ独自の課題チェックシート利用	活動をさせるのではなくやりたい事を伝える・選ぶように自主性が持てるようにしています
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			コロナ感染問題もありプログラム変更も多くあるので戸惑わないように丁寧な説明を行っています
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			今必要なプログラムを保護者に説明しながら固定化されていないようにしていきます
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			学年別に楽しむ・就労体験・日常生活能力の確認などを行っています
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			送迎時の表情や様子を確認しながらメロディ利用開始時は言葉以外にも文字や絵カードを利用し活動説明を分かりやすく行っている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			毎朝前日の様子・支援に問題がなかったか等を話し合い、子どもが戸惑わないように統一した支援を心がけている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			帰宅送迎時課題があった子どもは保護者に報告し支援に問題ないか・意見が無いかを確認しスタッフにも問題がなかったか話をしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			今の課題や保護者・学校からの情報なども記録に残しスタッフが観覧できるようにしている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			モニタリング以外にも定期的に会議開催を行いモニタリング・個別支援計画作成の見直しを行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			社会福祉法人光陽会の事業の目的及び運営方針に基づいて支援を行っている

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			サービス担当者会議には管理者および自発管理以外に担当支援員も利用者の状況が分かるように参加できるようにしている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			コロナ感染問題で学校休校、再開など保護者からの情報発信していただき本当にありがとうございました。情報共有は出来ています
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7			医療的ケアの子供は受け入れていないが家族・医療機関同意のもと緊急連絡簿の作成を行っている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7		相談支援事業所等の連携	相談支援員を通して必要な情報を提供してもらったり保育所等に電話で情報共有してもらっている。コロナウィルス拡大で会議開催が出来ていないこともあります
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7			施設実習など施設から情報の提供依頼があった場合はご家族の意向を確認しナビゲーションブック作成や担当者会議に参加しています
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			法人が年間研修に強度行動障がい者研修等を計画し職員が研修を受けている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7		コロナウィルス感染問題などもあり交流活動は自粛させていただいています
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		7		自立支援協議会は行われていません。
保護者 への説明 責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			モニタリング・個別支援計画でなく課題が見られれば家族に電話・連絡帳・送迎時を利用し情報共有を行っている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7			ペアレント・トレーニングは行っていませんが子供が出来た事・放課後等デイサービス利用時に約束が守れた事等に対して「褒めてあげてください」とアドバイスは行っている
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			利用契約時に書面にて丁寧に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			送迎時などを利用して保護者に問題確認などを行っています。連絡帳利用のやり取りもメロディから問題がないか記載していきます
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7			コロナ感染問題もあり開催はしていません。必要時は保護者の意向も確認させていただきます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			苦情があった場合は管理者を中心として支援員と会議を行い対応策など迅速に行い周知徹底していきます。メロディ開設し一年経ちますが苦情は見られていません
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			毎月メロディ通信に行事・お知らせ・活動様子を掲載し配布を行っている。連絡帳・送迎時に行事・活動の様子も伝えるようにしている
	35	個人情報に十分注意している	7			個人情報の取り扱いに関して全職員に周知徹底を行っている。記録に関しても外部持ち出し禁止・適切にキャビネットに保管している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			活動時に注意するときなど人前ではなく個別に子どもと振り返りを行っています。言葉だけでなく文字・絵カードも利用しています
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7			コロナウィルス感染問題に伴い地域参加等は行っていない

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			緊急時マニュアル等職員徹底は出来ているが保護者に対しては利用契約時に説明しています。必要時はモニタリング時に保護者説明しています
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	2		毎年10月・3月に防災・避難訓練の予定を計画している。(火災・防災訓練を行いました)
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			虐待防止の研修会・勉強会を定期的に開催しています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			放課後等デイサービス・メロディ内で身体拘束は行っていません。自傷行為や他害行為のある子供についてはご家族と話し合いを行い問題解決・同意を行っていきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			利用前アセスメント時にアレルギーの確認を行い医療機関受診・服薬等の情共有を行っています
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			問題があればヒヤリ・ハット報告書を作成し全職員に閲覧・会議を行っています